

24春闘行動 3.14千代田総行動を実施

「物価高上回る大幅賃上げ、最賃1500円、消費税減税
大軍拡・大增税反対で暮らし、雇用、いのち、平和を守り
連帯と労働組合の力で24年春闘勝利をめざす3.14千代田総行動」

納得いかない回答にはストライキを

区内6駅頭で早朝宣伝 3854枚配布

3月14日、千代田区春闘共闘は、朝から、「物価高上回る大幅賃上げ、最賃1500円、消費税減税、大軍拡・大增税反対で暮らし、雇用、いのち、平和を守り、連帯と労働組合の力で24年春闘勝利」を掲げて3.14千代田総行動を実施しました。

朝8時から9時過ぎの間で総行動チラシ（表面：労働組合の奮闘で暮らし改善雇用守る 物価高上回る大幅賃上げ、最賃1500円、消費税減税、軍事費削減！24春闘での諸要求実現、争議の早期解決にむけ連帯してたたかおう 裏面：岸田首相「大幅な賃上げなくして景気回復できない」と言う それなら「最賃法改正」で時給1500円・月25万円の最低保障を！ 経営者は最大限の賃上げを行え！）と未組織労働者向けチラシ（変えるリーフ24）を神田駅、九段下駅、市ヶ谷駅、霞ヶ関駅、虎ノ門駅、新お茶の水駅・小川町交差点の区内6駅頭で28人の参加で合計3854枚を配布しました。晴天に恵まれ、春めいてきたときでもあり、駅利用者にティッシュに入れたチラシを受け取ってもらいました。



新御茶ノ水駅・小川町交差点での宣伝
全国一般東京地本の方々

神田三崎町、飯田橋、猿楽町、神田神保町などの地域に

「変えるリーフ24」を全戸配布

午前10時から、東京地評が都内で配布している「変えるリーフ24」を神田三崎町、飯田橋、猿楽町、神田神保町、西神田、内神田などの地域に、14人で2600枚を全戸配布しました。

「変えるリーフ24」配布行動の意義は、「日本においても労働組合がストを決行し、世論も好意的に捉え、労働組合に対する期待は高まっています。いま、空前の物価高騰に実質賃金が追い付かず、未組織労働者が置かれている状況は、益々厳しくなっています。労働組合が地域において、組織化宣伝を大衆的に行うこと

が重要です。組織化の教訓は、労働相談からの加入や新たな組合の結成が中心です。「コロナ禍や物価高騰で厳しい今こそ労働組合の出番」と広く未組織労働者に知らせることが重要です。」となっています。



全戸配布した「変えるリーフ24」の表紙

AGC 本社前で抗議・要請・宣伝行動

AGC とその子会社は解雇撤回、男女差別をやめろ！

13時半からは、東京駅前の新丸ビルにあるAGC本社前で、抗議、要請、宣伝行動を行いました。

東京地評などからも参加があり、23名でAGCに向けてアピールし、解雇撤回、男女差別解消を訴えてチラシをまきました。



AGC 社前での集会

AGC 社前の訴えは、香取千代田区春闘共闘副議長の司会で進められました。

冒頭、茂呂千代田区春闘共闘議長は、「AGC の解雇は、人事担当者がいきなり在宅勤務中に寮に押しかけ、突然解雇予告を手渡され、社内入館 ID カードが使用不可とされ、職場から締め出され、そのまま解雇になってしまったというひどいものです。もう一つは、AGC の子会社、AGC グリーンテックの男女差別の事件です。両方とも裁判で争っています。早く解決するよう、ここに

要請に来ています。AGCは、要請書も受け取らず全く対応しようとしません。AGCという世界にも出ていて、人権を守るという会社方針が、あるにも関わらず、ひどい対応していることは、矛盾しています。きちんとした対応を求めます。」とAGCに向けて訴えました。



AGC 社前で解雇撤回、男女差別の解決を求めてアピール

争議をしている組合員を抱えている個人加盟組合のユニオンちよだの鈴木委員長は、「AGCに抗議要請に来ました。AGC、旧旭硝子の子会社のAGC グリーンテックと男女差別事件で裁判を行っています

す。総合職である男性が優遇され、一般職の女性は、賃金や社宅の貸与などで差別を受けています。こんなひどい差別の解消を求めています。もう一つは、AGC 本社の女性の解雇事件です。大学院を卒業し入社しましたが、十分な社員教育を受けさせてもらえず、能力不足を理由に上司の監視下に置かれ、始末書をたびたび書かされ、挙句には、いきなり在宅勤務中に解雇予告され、会社から締め出され解雇されました。解雇撤回を求めて地裁に提訴しています。AGCは、女性が活躍できる会社なのでしょうか。双方の争議の早期解決を行うべきです。」と訴えました。

CU 東京の白滝書記長は、「今、春闘の時期で大手企業の回答がありました。満額回答が多いということでしたが、今の物価高に追い付かないものです。更なる賃上げを求めて闘います。そうした中で、AGC、およびその子会社の賃金及び男女差別がある、大きな会社でまかり通っていることは信じられない、これを許してはいけません。男女で仕事の差別をしてはならない、ジェンダー平等をAGCに求めたいと思います。」と訴えました。

東京地評女性センターの菊池事務局長は、「不当な解雇、女性であることを理由とした差別を許さない立場で、この争議を支援します。これまで、女性の賃金差別、解雇、派遣切りなど様々な闘いがありました。AGCは、ホームページで従業員に約束する価値観として、多様性を尊重する文化の中で能力を高めあい成長する、正しい行いを実践し信頼、誇り、やりがいを高める、そして、国内採用に当たっても社員一人ひとりが挑戦することを大切にしている、一人ひとりの個性や能力を最大限生かすための人材育成を行っている」と述べています。また、AGCグループは、女性活躍の推進に優れた企業として、2020年度になでしこ銘柄に選定されています。争議をしている会社としては、経営方針とあまりにも違い、人材育成の観点がないのではないかと思います。不当な解雇、男女差別は、なくしてください。」と訴えました。

AGCに解雇された女性は、「在宅勤務中に突然押しかけられ、首を切られました。不当な解雇だと思います。首を切られて生活していくために、仕事を探していますが、200社受けても、争議しているために採用されない、首を切られて人生が台無しにされています。復職求めて闘い続けます。ご支援よろしくお願ひします。」と切実に訴えました。

最後に、小番千代田区労協副議長の音頭で、会社に向けてシュプレヒコールを行いました。

春闘大手満額回答相次ぐが、まだ物価高に追い付かず

自動車(日産1万8000円、トヨタ7940円~2万8440円、ホンダ2万円)、電機(1万円~1万3000円)、金属労協(平均1万4877円)、日本製鉄(3万5000円)JFE(3万円)などの大企業は13日、労働組合の春闘要求に一齐に回答を出しました。財界、政府も賃上げが必要であるという状況に、労働運動が押し込むもとの満額回答が相次ぎました。国民春闘共闘でも全医労(8324円)、JMITU(組合員平均1万1299円)

しかし、賃金の伸びが物価上昇に追い付かず実質賃金は22カ月連続マイナス。大企業の内部留保が528兆円に膨れ上がるも、大企業の内部留保を還元し、中小企業の下請け単価引き上げ、サプライチェーン(供給網)全体に賃上げを波及させる、非正規雇用労働者の賃上げまで波及させる、大企業の社会的責任を求めて闘いが続きます。

(千代田区労協事務局長 小林秀治)

24春闘の行動のお知らせ

3.28(木)★AGC 株主総会宣伝(丸の内・東京會館前)9:00~

4.10(水)

★東京春闘「最賃ビッグアクション・春闘勝利集会」(厚労省前)12:00~

★4.10 春闘行動国会請願デモ(日比谷公園西幸門から)18:30~

4.16(火) ◆千代田総行動

★朝宣伝:市ヶ谷、九段下、霞が関、虎ノ門、神田、新お茶の水駅の各駅頭

★神保町昼休みデモ(西神田公園から俎橋児童遊園)12:10~12:50

★午前、午後要請行動など

◆ 6・9 宣伝行動 4.9(火)(市ヶ谷駅)18:00~

◆ 消費税反対宣伝行動 3.21(木)18:00~、4.16(火)16:00~(いずれもお茶/水駅)

◆ 未組織宣伝行動 4.1(月)(神保町交差点)18:00~

◆ JAL 争議支援宣伝行動 3.27(水)、4.24(水)(有楽町マリオン前)18:00~

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

* 千代田区労協通信バックナンバー / http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2023.htm